

人口動態報告（平成31年4月1日現在）

資料2

1 人口の推移

○総人口は、平成20年（2008年）以来11年ぶりの増（51）となった。世帯数増加の傾向は続いている。

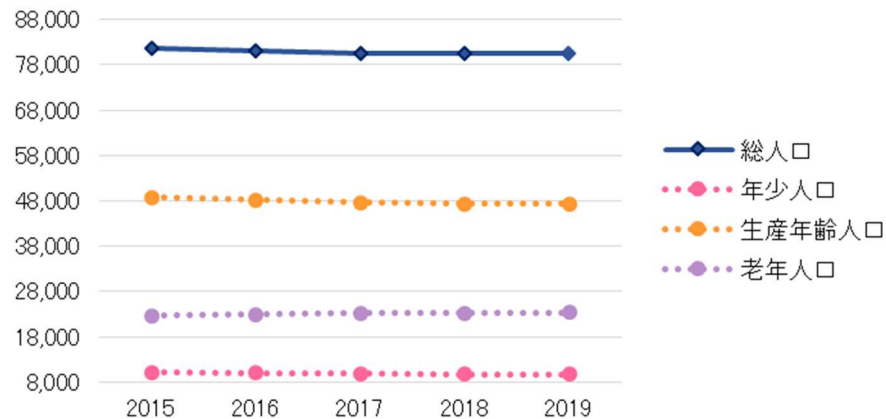
○生産年齢人口の減少数は縮小されたが、老年人口の増加数は拡大し、高齢化率は29.1%となった。

○日本人は昨年に続き減少し、外国人は昨年に続き増加し外国人比率は3.9%となった。

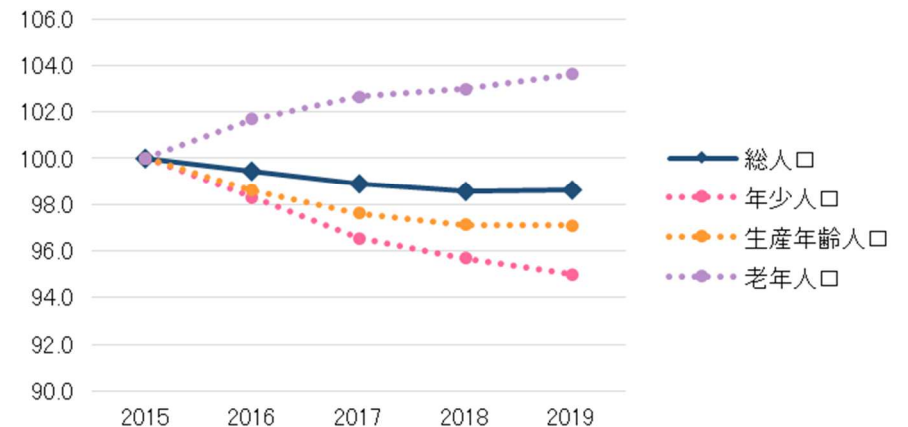
＜表1 人口と世帯数の推移＞ 出典：市民課「町別年齢別人口」（基準日：各年3月31日）

和暦	西暦	総人口		世帯数		人数 /	年少人口			生産年齢人口			老年人口			日本人			外国人		
		数値	前年比	数値	前年比		数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率	数値	前年比	比率
H27	2015	81,547		31,284		2.61	10,270		12.6%	48,686		59.7%	22,591		27.7%	79,339			2,208		2.7%
H28	2016	81,078	-469	31,452	168	2.58	10,095	-175	12.5%	48,013	-673	59.2%	22,970	379	28.3%	78,723	-616		2,355	147	2.9%
H29	2017	80,634	-444	31,685	233	2.54	9,913	-182	12.3%	47,529	-484	58.9%	23,192	222	28.8%	78,088	-635		2,546	191	3.2%
H30	2018	80,379	-255	32,081	396	2.51	9,828	-85	12.2%	47,283	-246	58.8%	23,268	76	28.9%	77,654	-434		2,725	179	3.4%
H31	2019	80,430	51	32,652	571	2.46	9,755	-73	12.1%	47,264	-19	58.8%	23,411	143	29.1%	77,307	-347		3,123	398	3.9%

3年齢区分別人口数推移



3年齢区分別人口増減率の推移（2015年を100としたとき）



2 移動数の推移

○出生数・死亡数は平均並で、昨年に引き続き自然減となった。

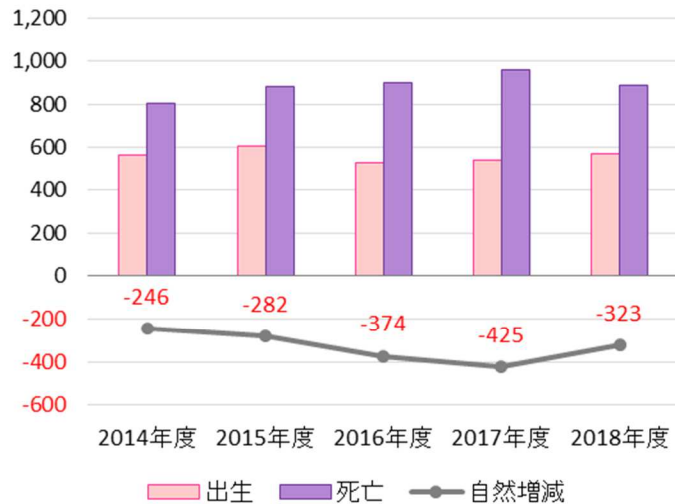
○転出数・転入数は年々増加傾向にあるが、平成 31 年度（2018）は記録に残っている昭和 53 年度（1978）以来最大の社会増となり、総人口も増加した。

<表 2 移動数の推移> 出典：市民課「人口・世帯の推移」 ※社会増減＝（転入+他増）－（転出+他減）

※他増/他減・・・職権による消去・回復など（現地調査等により居住の事実がないことが明らかになった場合や外国人が転出届を出さずに出国していたことが明らかになった場合など）

年度	出生	死亡	自然増減	転入	転出	他増	他減	社会増減	全体増減	総人口	世帯数
H26 2014	562	808	-246	2,357	2,176	71	152	100	-146	81,547	31,284
H27 2015	602	884	-282	2,320	2,433	56	130	-187	-469	81,078	31,452
H28 2016	525	899	-374	2,432	2,430	51	123	-70	-444	80,634	31,685
H29 2017	538	963	-425	2,497	2,263	49	113	170	-255	80,379	32,081
H30 2018	566	889	-323	2,990	2,573	89	132	374	51	80,430	32,652

自然増減の推移



社会増減の推移

